

6月にはいり、湿気でじめじめとした梅雨の季節になりました。しかし、教室の窓をあけると、爽やかな風が通り抜けていきます。教室が爽やかだと、子ども達もいつも以上に学習に集中できています。

これまでの算数の学習について、子どもの様子、学習の成果と課題についてお知らせいたします。

【4年生】角の大きさ…全10時間

「つるぎコース」

最初は分度器のめもりの読み方がわからず、苦労している様子が見られました。「分度器のへそ(中心)を合わせる」、「0の線を合わせる」、「0からめもりを読む」を合言葉に練習していくことで、徐々に読み方にも慣れていきました。180°より大きい角をはかる時には、正確にはかかれていても、「180+〇」や「360-〇」の計算で間違えてしまうこともありました。

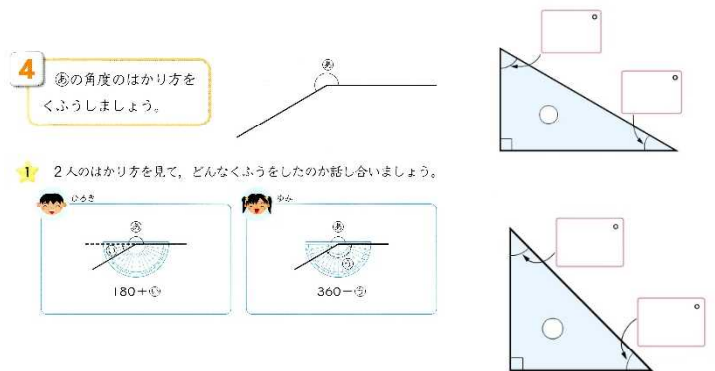
また、三角定規を組み合わせた角度を答える問題では、それぞれの定規の角度を覚えていないと答えられません。そこで、「さぶろうくん(30° 60° 90°)」、「しごしごくん(45° 45° 90°)」と三角定規に名前をつけて覚えさせました。

「はくたかコース」

「イルカコース」

クジラコースと同様に、分度器のめもりを、どちらから読むのか不慣れな子も何人かいました。そのため、見た目で90°より大きい角でも「30°」と答えてしまうこともたびたびありました。

これからも、角度をかいたり、読んだりするときには見当をつけて、「90°より大きいかな」「180°より大きいかな」と予測してはかることを大切にしていきたいです。



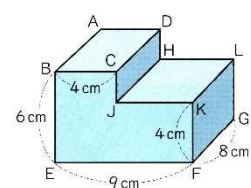
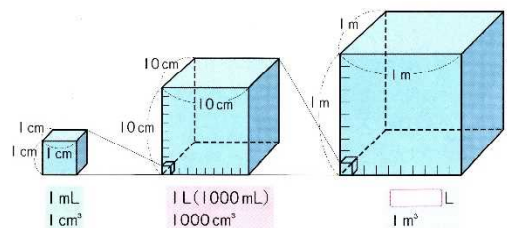
【5年生】直方体や立方体の体積…全10時間

「クジラコース」

何度も問題をとくことで、複雑な図形の求め方や単位換算ができるようになりました。ただ、 cm^3 、 L などの単位換算は難しく感じる子が多く、うまくできない子が多かったです。確かに、式や数字だけではなかなかイメージができないところなので、これからも他の単元や他の教科でも触れていくことで、単位についてより一層意識させていきたいです。

「イルカコース」

直方体の公式「たて×横×高さ」や、直方体の公式「1辺×1辺×1辺」を使い、TやLのように変形したものの直方体に直すことで求めることができていました。どの子どもも、自分のやり方で答えを求めていました。多くの子が使っていたのは、「大きい直方体みて、小さい直方体をひく」方法です。ほかにも直方体を2つや3つに分ける方法があるので、問題によって考えやすい方法で解いてほしいです。



やす
体と
考え
す。

